

教材教具名	弁別筒通し	教科（国語算数・自立活動）	情報提供者（ ）
-------	-------	---------------	----------



教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- | | | |
|---|--------|--|
| 1 | ねらい | 色や模様を見ながら正しい方の棒に筒を通すことができる。
（弁別・手指の操作機能の向上） |
| 2 | 発達段階など | 絵柄の違いがわかる・握った手を動かすなど、簡単な操作ができる。 |
| 3 | 使い方 | はじめに筒の通った棒を提示し、模様の違いを見せる。
次に棒から筒をはずし、どちらか一つを児童に持たせて、正しい方を選びながら筒を棒に通してもらう。 |

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

はじめ、筒を棒に通すという作業が難しい児童もいたが、何度か手を取って、上下に動かす動作を教えるとスムーズに通せるようになった。が、模様での弁別をしながら筒を通すことは難しい児童がほとんどであった。操作が上手になってきたので、筒を握っていても模様が見えるように筒の長さを長くするなどして対応していきたい。